發句俳諧九百題

横山南堂輯

六

能詩九百數　目録　秋之部　一

七月一　立秋二　初秋　素秋
涼秋　殘暑三　初涼　秋光　秋洗　七夕
星槎　星渚四　星会青　槎葉　玉露
星系　貸小袖五　紀河　星槎　墨糸
蠶糸　蠶市六　蠶糸　蠶糸　蠶種　蠶糸
蠶市　蠶市　蠶糸　蠶糸
蠶糸　蠶糸　蠶糸
蠶糸　蠶糸　蠶糸
蠶糸

木槿 廿三　鶏冠花　茂陵　蕭蕭
我亡妻十四　秋海棠　蓼実花　芭蕉　蘭
鳳仙花十五　蓼花　南方州　朱唇　烏瓶
鬼灯　唐辛子花　蔓花　秋七種　蜀葵
蟋蟀　蟬　蟋蟀　蟋蟀大　紙剪蟬　蟋蟀虫　蟋蟀鳴　蟋蟀別　蟋蟀
秋蝶　秋深　秋蝶　秋蝶九　蝶別　蝶
蘆山別　案山子　蛍　蛍二十　引蛍　八月　菓月
八月　田面白　田舞　田舞　初月　云白月廿一　稲穂
白月　今日月廿二　月白　月見　月白　月見
白月　月　廿三　新宮　月白　月　月
秋月　廿四　翌月秋　月秋　月秋　月秋　放生会　放生

鶏頭　鶏冠　秋雨　廿五　秋雨　虎宮　冷力
秋雨　八　蛍火　秋空　秋空　廿六　秋山　秋夕
秋暮　秋萩　出萩　廿七　秋雨　秋淋　秋水
蔓水　秋蔓　南蛮　庭鶏　廿八　蛍宮上八　砧
小春　砧　蔓　小春　砧　蔓　廿九　蔓　尾花　芦花
紫苑　虎杖　紫苑　虎杖　蔓　蔓　三十　蛍　菓
新蕎麦　糸瓜　新蕎麦　糸瓜　蕎麦出　蕎麦出
稲刈　田刈　稲刈　田刈　蔓稲　三十　稲
彩米　焼米　彩米　焼米　蔓稲　稲舟　三十一　今年米
海老　海老　海老　海老　稲雀　初雁　雁　十二
木蓮　木蓮　木蓮　木蓮　鶏　鶏　鶏　十四
蘭菓　蘭菓　九月　出月　河豚　河豚　蔓鮎　蔓鮎
出月　出月　九月菓　菓　十五

白菓　黄菓　殘菊
十三夜　金市　新酒
末枯　芭蕉　紅葉
柿紅葉　楓紅葉　蔦紅葉
食かへ　桐　空　梅擬
木實　九年母　通草
空色　乃松　蓼蘇
后月　月名殘　后月
食時　秋雲
紅葉　蔦紅葉　蔦紅葉
紅葉山移　就後　童四脚
柿　栗　平雅實
菊　里　紙代
九月尽

俳諧九百題　目録　冬之部
十月一　神無月　小六月　小春　初冬　神送
神祭　神留守　神迎　芭蕉忌
時雨　時雨雲　時雨傘　初時雨
時雨　時雨五　時雨月　時雨月六　松風時雨
初雪　雪　七　初雪　雪風
雪舟八　雪籠　雪空　雪枝
凍水　氷　九　氷蔭　氷柱
冬月　冬日　冬木　冬山
冬湖　冬川　冬田十　冬籠
炉開　口切　囲炉裏　山賊
冬鶯　冬蝶　小春塞上
巨燵　墨燵　炬燵

精　十三　冬瓜　冬瓜　冬瓜　湯餅　金　十四
紙衣　冬瓜　冬瓜　冬瓜　頭巾　冬瓜　冬瓜　冬瓜
冬瓜　冬瓜　冬瓜　冬瓜　冬瓜

御詠九百題　秋之部

七月

七月十五日の夜の月

七月十五日の夜の月

七月の八日の夜の月

七月十五夜の月

七月の十五夜の月

七月十五夜の月

七月十五夜の月

七月十五夜の月

七月十五夜の月

文月

樵海潮堂編

西月

大江

素彦

梅堂

由聲

松什

重里

景人

立秋

[illegible]

文月や川又おとしの味噌　[illegible]

文月の面影又ゆる流星　[illegible]

文月や結ぶ[illegible]　[illegible]

文月や一[illegible]　[illegible]

人よ立秋よ[illegible]　[illegible]

秋立や[illegible]　[illegible]

蜩立や[illegible]　[illegible]

秋立や吸[illegible]　[illegible]

蜩立や[illegible]　[illegible]

秋立や素[illegible]　[illegible]

蜩立や[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

初秋の夕べ　まさ山の夕かげ　月清　子美
初蝉　やゝ涼　雨　清蟲の聲　雀巣
白露　朱雲　秋の来　枕めと
秋の来て出来ぬ　秋の夜　梅宗
一夜　蝉の聲　雲　雲の聲　山の月　梅影
秋の来　氣候　撰きる雲　雲の郷　上サ　水車
秋の上　上る　源慶の蝉　夏國
時めく　小　引る　蒲の秋　下サ　悟宗
秋風　蒲の蝉　夏國
秋　入る　雲かる　残暑　梅笠
蕭屋　ふる　残暑　人美
秋　入る　行く　大徳

秋

清白　清白　下モ
一山　一山
雀巣　雀巣
大徳　大徳
第月　第月
柳塘　柳塘
甚蕃　甚蕃
雀樵　雀樵
寒市　寒市
雀子　雀子
仕猿　仕猿
長閑　長閑

秋

二

七夕

星祭

星逢

氷室

養孔

古歌

冥水

黄泉

作麦

麦丹

逢坂

楼業

麦英

星合

星待

星祭

五橋

作麦

麦丹

氷室

朱実

麦英

楼業

[illegible]

[illegible]

[illegible]

蠶事盈　蠶事盈ちて伯父叔母の行縢
　　結ひ終りて結ひ終りて
墓素　伯父経此一つ多し一墓より
　　墨書付あるこの方の事
　　数多き墨完たり墨素
車帝　此帝や少村の方よりの
　　多帝より出て黄のよき結ひ
　　伯父の方の数より多し此の以
　　黄人うちむのたとふ中多の市
　　多帝の蠶より出れうの方
　　此中三井の三の伊
　　蠶しまるものの数多の市

蠶市　蠶市の中まれうの中妻子人世
　　商人を一日いまれて書うり　甲乙
　　蠶うれて書の自隆中妻妻
　　伯人の屋の佛事中伯を
　　庄中の伯うう中多の庭　薩デ
　　庄中中此を多れ数多の風
　　蠶売売三近いよ売る
　　中綱より角のかう中庭綾
　　うう中中中佛しまう玉綾
　　佛素　多より柳中まの麻うう姉しかり
　　一つ伯伯中伯伯伯より
　　男中経角蠶ハ素伯横売り　横尻

蠶糸　蠶糸　伯父　一朔　万雪
　　一朔　西う　和夷
　　閑富
　　伊石　一山
　　咲多
　　水

[illegible] 素堂　川柳
[illegible]　橋月
[illegible]　岩月
[illegible]　西后
[illegible]　月麿
[illegible]　紅年
[illegible]　数久
[illegible]　保芳
[illegible]　嵐夕
[illegible]　雅義
[illegible]　橘葉
[illegible]　里夏

柳絮

[illegible]　上作

飛雪

[illegible]

悦絮

[illegible]

切絮

[illegible]　上毛

[illegible]　武蔵

[illegible]

[illegible]　待村
[illegible]　一具
[illegible]　万雪
[illegible]　帝水
[illegible]　宣流
[illegible]　乙居
[illegible]　逸淡
[illegible]　在我
[illegible]　西曙
[illegible]　柳洲
[illegible]　橘葉
[illegible]　呆然

刺繍　きしゅう　繍は刺繍のこと　かまくら小菊　某人
きしゅう　繍を縫ひ　縫ひ先　首尾
とりとられる　蓋のきかぬ紙　桔梗
身袋　袋の端を折り返りていきまま　陳皮
衛宮入　つと入れ人数多く無身の屏風　医師
つとのつと　毒を抜き　面を清き　内陣
薄　毒を抜き　清き　仏足
絵本流　流の高き源は強本を登り　西江　作橋
流しする　柵　流し　無強本を　善羊
逆さ　逆るる　蓋の内　一具
清きし　内　柳　流きうめ　芳仙
蓋り　蓋り　蓋　月　禾月

蓋より　蓋より　蓋より　蓋の一枝を　蓋の面の陣　蓋の
蓋り　蓋の　蓋の　蓋の　蓋の　蓋の　蓋の　蓋の　蓋の
蓋の　蓋の　蓋の　蓋の　蓋の　蓋の　蓋の　蓋の　蓋の
蓋の　蓋の　蓋の　蓋の　蓋の　蓋の　蓋の　蓋の　蓋の

大文字　和自　甲斐　蓋
蓋俄鬼　蓋俄　伊勢　蓋
橋　綾　橋　橋　橋　橋　橋　橋　橋　橋　橋　橋　橋　橋

踊

[illegible]

[illegible]

[illegible]

稲妻

秋風

素

霊秋

草露　[illegible]の白きもの一つ露の玉　[illegible]　東郭

[illegible]　上廿　[illegible]　風石

[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

白露　[illegible]　[illegible]　[illegible]

霧や籠れる山の峰　雁橋
霧より高き縄手かな　菊邦
きりぎりす一面うけて桐の葉　東郊
桐一葉やかすかに桐一葉　蕉雨
つゐに書の社うれぬる桐一葉　永蕉
桐一葉蔵てふきたる小座敷　東蕉
桐一葉蔵てふきたる小座敷　木方
青ゝ為ちる時失ふ蔵る一葉　柳加
時雨ふるたびに桐ちる　陵山
庭木ちるたびに桐ちる　故人
桐一枝ハ人のこゝろや為ちる　望考
夢庵のよるの雨ちる桐ちる　こつ女
桐ちるゝ音ちりぬ　古信

桐一葉

桐数

朝顔

朝顔や笑ひ打　夢ト寝よきる
ひりふれ土蔵ひりぬ　松竹
朝顔や咲ーて屋敷の西　山鼠
朝顔や寝ーて屋敷の西　竹子
朝顔や蔵の隙さゝる朱蝋　柳加
朝顔や蔵の隙ハ藤や　凡兆
朝顔や女房ハ藤や　桂東
朝顔や女房ハ藤や　大鼠
つるるまゝハ女房ハ　乙孝
思ふ思ふ思ふ女房ハ　
姫桔梗ちりけり　秋又　支柱
蒼ひる蔵りの人ぞ女房ハ　出羽　健風
女房ハ蔵の蔵ちる時ー　上毛　一窩

女房ハ

蓼花　土州の国にてかやり草
　　霧の河原に蓼花咲し
桔梗　山路にあり
　　中別にて俗に桔梗
　　風にもまれ桔梗咲
　　蕎麦のつゆ桔梗
雁来　雁来は秋の来るなり
　　雁来は葉の色変
本撫　義城の婦人一重の本撫
　　にはいはるるさまの本撫
　　秋夕の撫子は
　　帰りなば本撫の花の
　　生羽

風撫　生江
西行　黄山
幻斗　小松
雄岳　赤井
冬芽　桐一
朱朱　正令

蘭尾花　本撫は花いとうるはしく
　　本撫は葉のうしろ
　　蘭尾花は穂の
蘭蓉　蘭蓉の花は
　　蘭蓉の花の
芭蕉　芭蕉は俳諸
　　芭蕉は高き
蕉　蕉の一つ
　　の蕉の屋
　　蕉の屋
　　蕉の屋の
　　蕉の屋の

牡丹　晩翠
文吉　猪月
二丘　義仙
里猪　可大
雪雄　黄
白我　雄岳

物語　源氏
朱雀　賢木
文集　葉山
惟州　白氏

萩

我本末

秋萩

蓮華寺

蘭

秋萩

蓮華寺

我本末　下サ
白氏　長恨
長恨　白氏
白氏　上毛
長恨　白氏
一行

なまくさ草や葉の色
黒き草の風や白ふや葉の色
似くさ草の色のなつかしき紫の色
麦色
麦の穂の白ひかり
水蓼は白き水蓼の白ひかり
水蓼は人の秋引白ひかり
白蘋の蓼紫ふ蓼の紫
蓼の穂のかしらぬ蓼蓼
蓼はなのかれて赤ち蓼蓼
蓼て赤なる蓼蓼
蓼て赤なの蓼蓼ちる
山ち蓼ひろく蓼仙花 しる
紅刷引蘋の色れる蓼仙花 蓼中

特為 物伴 麦國 麻三 叩月 岩外 岩間 無義 蓼花 丹蓼 柳蓼 呂蓼

蓼仙花 風姿 由蓼

蓼の穂 蓼は赤の蓼まきれて蓼の色 書蓼
ほちくと黒のきくる蓼の色 居住
ふ打てちちのきくる蓼の色 水蓼
紐を蓼は雑 蓼蓼 上カ 柳之
押ひかて風ふ蓼ふ南カ蓼 宮月
仙本も青赤ふくかり角カ蓼 蓼村
ふちかて結蓼ふ蓼柳の色 蓼物
水蓼ふ蓼ひ蓼ふ蓼いる蓼色 蓼蓼
結蓼ふ知ふ蓼ふ蓼の色 蓼内
出ふ月も蓼ふ蓼ふ蓼ふ蓼の色 對蓼
蓼蓼も蓼ふ蓼ふ蓼ふ蓼の色 水月

西瓜　四富　梅雪
蜀黍　玉泉　小業
鬼灯　松什　松洲
唐辛　芋頭　志徳

菓子

武蔵

四季　月　士明
一加　昇水
牡丹　山路
信濃　一貝
蕨粉　黒麦
盤山

秋七種

虫

梅津柳子　崔擴　源孝　古武呂　丹頃　藤義　重雄　一秋　梅津　昭翠　笑子

蟋蟀

蜢

蓬虫

秋

十六

[illegible]

鈴虫　鈴虫八雲ふる雨の音を　上毛　白露　伊勢物語

鈴虫や宮城よくの春之花　田毛　素柳

菜虫　菜虫や菜を出し　文政　[illegible]

竹中庵　竹中庵　[illegible]　石鼎

[illegible]　[illegible]　[illegible]

蓑虫　蓑虫よ我も蓑虫の仲間　一具

蓑虫や蓑を出て蓑を着ぬ　武蔵　東岳

[illegible]　[illegible]　[illegible]　源氏

[illegible]　[illegible]　玉英

[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]　伊勢　源氏　[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]　伝信　[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]

秋帳　[illegible]

秋燈　[illegible]

秋情　[illegible]

[illegible]

秋扇　[illegible]

秋屋別　[illegible]

[illegible]

[illegible]

一慶

[illegible]

[illegible]

[illegible]

八月十五夜の月を見て歌のうち
八月十五夜月を見て
八月十五夜月を見て
紅葉の中に紅葉のまじりたる
庚申の夜月を見て
月を見て
初月
月に寄る恋の歌
恋の歌
秋の月
初月
月に寄る恋の歌
秋の月を見て
月に寄る恋の歌
月に寄る恋の歌
月に寄る恋の歌

右月

結構戸山又宮ヨリ流レ下モ　子孝
右月戸青ヶ丘ノ麓ル所ノ麓　夢宮
右月戸ハ何ヶ宮ヨリ麓ル法ノ麓、　雲岳
右月のもれてくる仏の要　縫好
右月戸雲間の麓ヶ丘を伝ひもん　老園
右月戸ハ何ヶ宮ヨリ山ヶ麓ノ　妙翠
右月戸新ヶ宮ヨリ麓ル宝ハ麓ヶ宮　蕾雨
右月戸山の麓の麓ヶ宮ヨリ　芹月
右月戸麓ヶ宮ヨリ麓ル麓の麓ル麓　五橋
今月　京毎ヨリ見ハ麓ヶ宮ヨリ麓ル麓　雄岳
伝ヶ宮ヨリ麓ヶ宮ヨリ麓ル月　由雄
鎌竹ハ大切ヶ麓ヶ宮ヨリ麓ル月　一具

麓ヶ宮ヨリ流レ下ル山の月
麓ヶ宮ヨリ麓ル和の宮ヨリ麓ヶ宮の月、　反雲
麓ヶ宮ヨリ麓ヶ宮ヨリ麓ル麓ヶ宮の月　本弓
月の宮ハ何ヶ宮ヨリ麓ヶ宮の月　拙雨
月の宮ハ麓ヶ宮ヨリ麓ヶ宮の月を麓ル　美翠
麓の秋を麓ヶ宮ヨリ麓ヶ宮の月を麓ル　優物
仲秋一中秋ヶ宮ヨリ麓ヶ宮の月を麓ル　上毛　出来
麓ヶ宮ヨリ麓ヶ宮の月の麓ヶ宮ヨリ麓ル　伊勢　巌雀
麓ヶ宮ヨリ麓ヶ宮の月を麓ル　柳雪
月　月　麓ヶ宮ヨリ麓ヶ宮の月を麓ル　今邦
月の宮ハ麓ヶ宮ヨリ麓ヶ宮の月を麓ル　雀巣
山里ハ山を麓ヶ宮ヨリ麓ヶ宮の月を麓ル　上井　豊川
月　面　月の宮ハ何ヶ宮ヨリ麓ヶ宮の月を麓ル　宗邦

手を組て坐して月の面　上毛　桂堂

行人の行る表は似たり面の月　嵐秋

子をきき表の雲ひとし月の面　古僧

面りのやめか月ある雲の表　下毛　子松

障面の中は表ひとつの月　一山

石月の面まもるとしたんうる　子角

芋の皮をとる月は八つとうる　丹治

芋石月吉きを接ぬ祝ひ　芋石

飽偏をふるる月の之雪　昇

飽の内雲はかなきうし月を雪　梅雨

飽時を六度の月を見の月　雄峰

下りをけ答の中を月表　古武士

月

芋石月

有飽

歌屋

海の月表は月は中海の月表

月は中嶽表をうり陸の岩

雲表をうり月の出沙ト

川信のうをけを月の陸を空

ふるをうを月表下る月表

仲地をを岩の月表を月表

月をを月表表を月の岩

いをを中陸りを岩を陸歩り

表を表を人いをを月の岩

月表月のいをを中の面

陸引はいをを月を陸のを

いををみを月表月表

為山　抱儀　芋舎　現砂

表甲　医陸　耶料　表閑

梅望　昇古　陸面　一陽

いさよふ波に秋まよふ浦の月　閑斎
いまさらに山吹の新川傳のうく　光国
人を撰ぶ秋のはつ雁　雄岳
春と人のおろかなる月八百秋月　伝法
撰ぶ人は通る山居秋月　林斎
立秋中嵐と花の月の雲　一豊
立秋中月まつ人の袖しをり　伯支
立秋月　林鶴
立秋月の月を秋の川　石徹
居ながら山は高く秋の月　如空
秋月　宵寒き空を安く秋の月　如雲
立舟や人の眺よつる秋の月　山邦
筆をかぎり書は寄せ秋の月　玉丘

海原に月の人迎ふる星月夜　一叢
海原に月の人迎ふる星月夜　如我
海原に月の人迎ふる星月夜　仲斎
月秋　夜飯は星の為にひや月の秋　岩川
秋月　秋森をる人は秋も一月の秋　上井
秋月　秋月は菩提寺よ須磨の海人　白雄
秋月や鐘屋の新の鳴る時　内弱
秋月や人伝の書のたれる書　上毛　この空
秋月や松の古巣をたれる書　武蔵　仏忌
秋生書　書き人のとまる時一枝生書　椿如
線香は立男の作る秋生書　由雄
秋書　春男の為に一八秋生書　斎吾
秋書　廣徳

駒東

湖童

朝童

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

身に入

[illegible]

秋空

秋雲

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一網

玉英

守美

[illegible]

[illegible]

一行

[illegible]

[illegible]

秋山

[illegible]

[illegible]

[illegible]

秋雲　河内　雄略　秋の雲　上毛　雲仙　上野　白詩　蓬萊　惟柳　田家　朱子　雲仙　文友　廣居

秋蝶　秋の蝶　上野　秋の蝶　秋の蝶　秋の蝶

川よりいでて蔵にいつるや蔵しるや　十五　廣茅

夕葉や雲は流れて蔵しるや　文素

我蔵にかくれて蔵しるや　大江

いろくの角ありけり秋の蔵しる　生布

秋夢　生るも死るも夢の秋の夢　野鈴

夢の夢と思へば夢の秋の夢　孫谷

さて乃や夢の中の秋の夢　武蔵　淀角

秋の夢俗の上にはかえる夢　俊法　玉房

秋雨　忘れ人の忘れぬ雨や上りけん　杜鶯

雨はふりて老の涙は忘れ雨　内風

思ふ事ぞ雨をつたへて忘れ雨　常角

所思雨　夜ふけの雨はよくきこえんか　寿風

地定の　地定の月は花の名をうえ　西遠

月　地定の月は花の名をよいわ　茅の

月　月は二月の月は月の月　為中

月　月は二月の月は月の月　望麦

月　月は二月の月は月の月　石壺

月　月は二月の月は月の月　杜風

月　月は二月の月は月の月　鞍友

月　月は二月の月は月の月　上廿

月　月は二月の月は月の月　望山

月　月は二月の月は月の月　昔水

月　月は二月の月は月の月　尚田

月　月は二月の月は月の月　重与

小春月　小春月の月は雅なる月　小春月

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]　　[illegible]　　[illegible]　　[illegible]

[illegible]　　[illegible]　　[illegible]　　[illegible]

[illegible]　　[illegible]　　[illegible]　　[illegible]

田 苅

鍬子にて株にて刈るの田苅と
苅法にて穫と出る田と
風雨なきに早稲の苅こと 下サ

撰稲

を稲を見きる月赤と黒苅
かけ稲の汗をしぼりて
を稲の夢にて白人と米出り 下毛

義稲

神坂人の粳こと義稲と
者うにて改作うる米と義稲と
作り方作物こと義稲と

稲和

稲和と糯と渡作る稲うさ
稲和と自をものきて宝上川

雄穀 風雨 不行 苅味 梅原 素人 清宝 涼出 里麦 一業 業宇 情富

秋

今年米

産神人神海の稲にて米 下毛 米重 米栽 孤外 稲月

新米

新米と稲の産八月のきて
新米と稲乃祝の田の米 上毛 石不 系雄

焼米

焼米の集て米きき白人
きき一石の生と焼米の起き
新米と米出きの米作りて 石入 製山

新業

新米と通りて稲と稲と
いるかれ人と雄と 石古

稲雄

焼米と無人と西人り稲きと
焼米きと人と稲きと 伝宝 大梅 西海 麦松

初雁　初雁や仏よとめる数は有き
きつ雁や かさ法師の影よ有る
初雁や 冥こゆる月の西の方
出て見る八月よ 初の夫婦雁
雁啼や 時雨れ 来きやよの霜
小雪や 来ては 雁の 鳴
雁啼や 入れおくし 妻子の雁　老僧
雁よ 人 来れ くし 妻子の雁　俳諧
来て 雁の 影 来 や 岩の 面　俳諧
雁啼や 長く 来 ま 形の 板
下りさて 松田 ゆ や 面の 雁
寄のきぬ 面や 表 来 渡る 雁

為ため　久方　名川　一見　稲葉　友義　尚白　皎月　俳諧　里江　為二　種好

渡雁　雲仙 雁 来 渡りて 来
渡り 渡り 雁 来 渡 れ は 里の 雁
渡り 雁 来 て 来 れ や 来 し 沈 雲
尼 来 て 来 の 傾 や 尼 雁 雁
雁 来 て 来 て 来 し 渡 り 雁
渡 人 て 来 の 尼 来 や 来 て 来 雁
渡り 雁 尼 て 来 て 来 て 来 雁
長雁　長雁や 時 を 来 れ ば 影 を 長
長雁の 影 を 来 て ふ け り 里 山 て
四十雁　仏 て 来 て 秋 は 来 て 渡 戸　四十雁
仏 は 戸 や 渡 り て 来 れ の 四十 の て
枝 て て 作 白 て 来 や 戸　四十 か て

和歌　雪素　素人　文友　月邦　菅古　好繁　雪里　白雪　仲子

鶴衆　城ヶ崎の高き岸や鶴川
　　深き方の秋はまさしく　中務卿
伺落　山の端を出て来る時の月の影　和泉
　　清きを見て深き川や伺落帰
　　帰りけり月の出を待つ山の端
　　紅葉　紅葉の中に鶴の声　四
　　秋の月の中に鶴の声　中納言
　　深き初雪紅葉の中に鶴の声　中務卿
　　雪五月雨の中に鶴の声　武蔵
　　蔦紅葉の中に深き初雪　寸出
　　色色に重なる菊の花の中　為山
　　色色に重なる菊の花の中　惠河
　　由聖

深紅　時雨の中に鶴の声　惠河
　　秋の月の中に鶴の声　上野
　　秋の月の中に鶴の声　石右
　　秋の月の中に鶴の声　乙右
　　秋の月の中に鶴の声　丹右
　　秋の月の中に鶴の声　伊豆
　　秋の月の中に鶴の声　相一
　　人の声の中に鶴の声　深宗
　　時雨の中に鶴の声　深宗
　　時雨の中に鶴の声　深宗
　　時雨の中に鶴の声　羽出

崩巣　菊の花の中に巣の崩れ　主殿
　　菊の花の中に巣の崩れ　主兵
　　菊の花の中に巣の崩れ　文戦
　　菊の花の中に巣の崩れ　勇賀

九月　菊の花の中に巣の九月　上野
　　菊の花の中に巣の九月　石右
　　菊の花の中に巣の九月　乙右
　　菊の花の中に巣の九月　丹右
　　菊の花の中に巣の九月　文郡
　　菊の花の中に巣の九月　相一
　　菊の花の中に巣の九月　深宗
　　菊の花の中に巣の九月　羽出

九月菊

菊

雁来紅
穿菊
斗立
紫月
吉武吉
松竹
天不
稿芋
貫菊
野麦
雑石
法師

白菊

黄菊

残菊

月邪
物園
種好
虎宮
士明
物朝
野菊
界月
墨池
春野
呼菊
梅会

[illegible]

名月

[illegible]

月名所

[illegible]

名月句

[illegible]

十三夜　[illegible]

寅市　[illegible]

新酒　[illegible]

今年酒　[illegible]

霧時雨　至ることハ本樵ハ出ル霧ハ

未刻ニ霧の樵ハ霧時雨

霧ハの葉ハおなじ霧ハ時雨ハ

秀ハ霧ハ霧の志ハ樵ハの南

実ハ霧ハ樵ハ霧時雨

吹ハ霧の樵ハ樵ハおなじ秋の霧

車ハ州の葉ハ出ハ秋の霧

石の樵ハ州ハ時雨ハの霧

出ハ樵ハ樵ハ葉ハ秋の霧

秋の霧ハ樵ハ樵の樵ハ八重

ハ樵ハ樵ハ樵の樵ハ八重 上サ

未枯ハ樵ハ霧ハ樵ハ八重

未枯の井ハ樵ハ樵ハ樵ハ

陸奥　田舎　上ハ

以ハ　樵家

樵家　郡

秀ハ　居

樵ハ　山

樵ハ　里

秋霜

未枯

未枯ハ樵ハの樵ハ樵ハ樵ハ　上ハ

芭蕉葉ハ樵ハ樵ハ樵ハ

小倉ハ樵ハ樵ハ樵ハ

破ハ樵ハ樵ハ風ハの破ハ樵ハ

芭蕉葉の破ハ樵ハ樵ハ樵ハ

夕葉の樵ハ樵ハ樵ハ樵ハ　伝信

秀紅葉ハ樵ハ樵ハ樵ハ

秀紅葉ハ樵ハ樵ハ樵ハ

夕葉ハ樵ハ樵ハ樵ハ

ハ樵ハ樵ハ樵ハ樵ハ　下ハ

ハ樵ハ樵ハ樵ハ樵ハ

ハ樵ハ樵ハ樵ハ樵ハ

ハ樵ハ樵ハ樵ハ樵

四五天の山は名所の中にもなり　信濃
天和の頃天竺の唐の紅葉　雲居
仙の本は唐にも無きの紅葉　嵯峨
出流にて聖の紅葉　雲居
きまくの長嶺にて紅葉　武蔵
玉泉の情に深て落めこと　越中　完葉
手にて摘こと紅葉　清風
楓　雪の中の紅葉　雅楽
本の宮は清にて楓紅葉　古歌
巻にて楓紅葉　杜鵑
風節は小倉に楓紅葉　信濃　相居
川岸にて楓紅葉　長崎　鶴水
楓紅葉　雲陽

加茂の紅葉　白雪
加茂の数の紅葉の巻に紅葉　西吉
ひろの新の中の紅葉　古歌
聖山の紅葉　鶴水
聖の中に紅葉　一朝
紅葉　上毛
紅葉中に紅葉は巻の中に　五湖
蕃葉に成る雨の中に　黄葉
黄に成に打まよ巻の紅葉　下毛　同水
龍田姫
夫と成る田畑の中に紅葉　由紫
鄰も秋は屋に成に紅葉　松窓
嶋の成る宮の巻に成に童の紅葉　文四
巻に成ぬ松に紅葉より巻に成る　陸奥　白水

相実　一陽　石橋　右徳

梅蹄　長莊　歳光　月邦　伝法　古武宮

柳　惟州　葉山　文友　古武宮

栗　秋実

椎実　鮮好　葉山　左我　樹石　一友　千夷　牡流　流巷　乙居　左宮　梅蹄　梅宮

本実　義栗中樹も鮮好なる姫の手
秋実中の栗
手ちきを拾い力中蹄巷椎
なるの実八月実ゆく椎の義子実　主伝
椎の実中引山中にある冠本い
ゑる白の中より義ゑる本のゑ
外の外のゆゑより本ゆゑ
ゑゑゑ栗より義ゑ拾い本のゑ

九年母　九年母中九連にゑる乃咒
一姫ゑの義ゑゑゑゑ九年母

通州　義ゑ栗ゑゑゑゑ州ゑ通義中
二ゑるゑゑゑ和中通義若宮　鮮好

秋

菊

菊

紅葉

冬紅

行秋

行秋や山の[illegible]　蕭田
行秋や海の[illegible]の空　千英
[illegible]秋いく[illegible]田川　凸山
[illegible]の[illegible]や[illegible]の面　[illegible]
[illegible]より[illegible]の秋　[illegible]
[illegible]の[illegible]の嫁　[illegible]
[illegible]の[illegible]　伝法　[illegible]南
[illegible]の[illegible]の[illegible]や九月尽　桂水
[illegible]の[illegible]　一志
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]

暮秋

九月尽

餞雛

誹諧九百題　冬之部

横海湖堂編

十月

十月[illegible]　[illegible]朔
十月や[illegible]　水弁
十月や[illegible]の八[illegible]　[illegible]
十月や[illegible]の[illegible]　[illegible]
十月や二度[illegible]の[illegible]　杜[illegible]
十月の末の[illegible]　知月
十月も[illegible]　文[illegible]
十月や[illegible]　[illegible]桂

冬

十月中旬の頃より花

十月中旬の頃より花

[illegible]

[illegible]

[illegible]

神楽

神楽歌

神遊

建礼門院

十二月

十番歌

芭蕉庵

菊里　尚川　松竹　梅花　小尾　玉　風雅　由緒　雪花　春雨　四山

伝伝

菊屋　梅花　梅葉　菊宴　山風　丁知　夕雨　白峰　雄峯　嵯風　蔵古　梅翁　西遊

時雨會

四季條

四立戒

[illegible]

[illegible]

[illegible]

時雨

[illegible]　二　柳史
[illegible]　上毛
[illegible]　雲堂
[illegible]　一昌
[illegible]　柳笠
[illegible]　雲居
[illegible]　乙人
[illegible]　乗海
[illegible]　通志
[illegible]　伝虎　冠篇
[illegible]　魯之

[illegible]　蓼村
[illegible]　寺東　雲堂
[illegible]　柳笠
[illegible]　伊勢
[illegible]　沙路
[illegible]　沙弓
[illegible]　は雅
[illegible]　其道
[illegible]　寺東　雅志
[illegible]　清鼎
[illegible]　馬笑
[illegible]　士佐　献冠
[illegible]　文翠

小春

[illegible]

秋月

[illegible]

[illegible]

[illegible]

雲

大樹
蓑魚
大鵬
鵬文
生石
蘆名
濃州
石鼎
内藤
一色
石国
鶴紅

雲

岩雲
[illegible]

雲

[illegible]

雲

[illegible]

霜柱

霜柱

霜柱

雪の氷

冬

氷

氷

薄氷

凍

雪

風

[illegible]
[illegible]
[illegible]

冬赤

冬山

山賊

冬田

冬陽

冬川

水潤

[illegible]

冬構

[illegible]

[illegible]

[illegible]

巨燒

金巨燒

蝗虫

猬

一昌

金

物茶

丁和

年月

物茶

為山

物々

為岱

物茶

田高

物茶

巨燒

巨燒して燒岸の燒

巨燒して山の燒

陣の燒

いまつして巢を巢る燒中書燒

かまくらの山を巢る「巢」巢こと

松巢の巢燒中

蝗虫を蝗虫の巢こと

蝗虫中蝗虫の巢

蝗虫中蝗虫の巢

蝗虫中蝗虫の巢

桐生桶
湯殿
倉

[illegible]
[illegible]
[illegible]

布園

[illegible]

[illegible]

[illegible]

朧

保ゝ月ゆきあれや見あの白の雪
保の子よいとゝ雪や松葉掻
雪屋けの子ゝ雪ゝ雪ゝ雪ゝ雪ゝ

寒瘍

雪中けや法場の咒の祈かゝ
ゝゝゝゝのまゝゝゝゝゝゝ

紅葉散

山ゝゝゝゝゝゝゝゝ
つゝゝゝの新羅ゝゝゝ

落葉

雪ゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝ
又面ゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝ

落葉掻

落ゝゝゝゝゝゝゝゝ
山里や落ゝの下の雪ゝゝ
仰ゝゝの人ゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
掻ゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

木葉

山里の落ゝゝゝゝゝ
面風のゝゝゝゝゝゝ
掃ゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

武蔵

山翁

甲斐

雁瓜
柳原
素凱
猪角
鶴之
京邸
柳加
之羅
千鶯
深谷
素柳
牡丹

[illegible]

菓子

[illegible]

山菓子

[illegible]

帰子

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

八ツ手

人もなき[illegible]ハツ手哉

[illegible]ハツ手咲

白の葉の[illegible]ハツ手　光悦

葉[illegible]ハツ手

石蕗花

石蕗の[illegible]石蕗の花

[illegible]石蕗の花

[illegible]

[illegible]

[illegible]

冬籠

牡獅

牡鹿

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

牡菊

[illegible]

牡蘭

[illegible]

牡蘭

[illegible]

牡蘭

[illegible]

牡蠣　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

弱年菓

蕎

蕎汁

蕎麦麺

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

生涯義

水香

浮春香

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

小野

重房

冬秀

千鳥

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]　下廿

[illegible]　[illegible]

小歌手　小歌手帰京　土佐　堂嶮

[illegible]　大経

[illegible]　一秋

機手　[illegible]　乙吉

[illegible]　一[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]　一[illegible]

[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]

浦手　[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

雲月や壁山ハ門の先まで行る　友義
雲月や崖先ハ門の先まで　知月
雲の月雲の家まこのうり　易笠
秋さら〳〵て横の蕎麦を雲ト　横策
西國の格ハ雲の名ハ〳〵　吟杉
雲ト名ハ門ハ雲ト名ハ　一湊
雲を閉ハ夕ハ雲ハ雲ハ　青昭
雲ハ雲の雲ハ雲ハ雲ハ　田逸
雲の雲ハ雲ハ雲ハ雲ハ　北荘
雲ハ雲ハ雲ハ雲ハ雲ハ　要風
雲の雲ハ雲ハ雲ハ雲ハ　閑友
雲ハ雲ハ雲ハ雲ハ雲ハ　白雲

雲月　佐佐

雲月梅

醫美

雲ハ雲の雲ハ雲ハ雲ハ　白雲
雲ハ雲ハ雲ハ雲ハ雲ハ　好静
雲ハ雲ハ雲ハ雲ハ雲ハ　惟策
雲ハ雲ハ雲ハ雲ハ雲ハ　巨之
雲ハ雲ハ雲ハ雲ハ雲ハ　梅雪
雲ハ雲ハ雲ハ雲ハ雲ハ　傳風
雲ハ雲ハ雲ハ雲ハ雲ハ　洛雪
雲ハ雲ハ雲ハ雲ハ雲ハ　由聲
雲ハ雲ハ雲ハ雲ハ雲ハ　一朔
雲ハ雲ハ雲ハ雲ハ雲ハ　杉夫
雲ハ雲ハ雲ハ雲ハ雲ハ　由聲
雲ハ雲ハ雲ハ雲ハ雲ハ　西方

雲月　雲美

雲月

雲美

雲月

雲月

雲月

子嬰仙　白光
惟州
千号
一陽
陳子
昌黎
梨山

関市　武蔵

升東　北方
一帆
石室
素達
惟子
化鵬

墨村先　徳爽

墨の
陳子
西号
為山
牡水
長升
素交
昇月
老閑
吉武

大師塔
如慧禅
墨石
石室

洗心亭

洗心亭人の数を一時の法
洗心亭人うけ受きかたち
仙人の寶かつ弟子
和子孟嘉かつ

雪

元和　源重　西月　水年　織田　秋香　其賢　尚心　基之　雅房　大秋　水年

雪見

[illegible]

雪島

[illegible]　秋香　山口　和基　吟子　一朝　友雄　[illegible]　陸奥　一具　京武吉　陸奥　可野

[illegible]

雪

[illegible]

暮雪

[illegible]

[illegible]

[illegible]

雲山　雪佛　雪團　擂

雪車　寅　嚴

冬

氷柱　杜鵑
月　杜鵑
月　鶯
月　水月
月　廣澤
月　物思
月　以前
月　寄水
月　物思
月　廣澤
月　五

月　月風味　夢遠
雲　雲　月　月
雲　雲　月　西月
夕　夕　夕　和歌
夕　夕　夕　侍
夕　夕　夕　少
夕　夕　夕　雪
夕　夕　夕　移動
夕　夕　夕　雪
夕　夕　夕　為
夕　夕　夕　雪
夕　夕　夕　月
夕　夕　夕　氷

人ハ品ヲ作ル者ニ
香嗅ヲ
香嗅ヲ
香嗅ヲ

齊匡　[illegible]　[illegible]　西桐
[illegible]　尚四
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]

紀至　[illegible]　紀氏　台[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]

紀至升　[illegible]　紀至
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]

菊茂陽　[illegible]　紀至升　尚四
[illegible]　[illegible]

葉倉　[illegible]　[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]

[illegible]

仏名会　一夢　出京

山出家新搭ひ人々仏名会　貢富

[illegible]　臺月

[illegible]　一朔

事始　俳諧八義　[illegible]　塚茶

[illegible]　器羊

宴八　ふ[illegible]　可会

[illegible]　木鶏

[illegible]　物陳

[illegible]　妙仏

[illegible]　菓山

宴内　[illegible]　出羽　物之

宴の内　[illegible]　出羽　[illegible]　赤飯

[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]

宴の内　[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]

宴新　[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]　出羽　[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]

宴参仏　[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]

雪月

雪梅

冬

雪月

雪梅

寒樓

雪樓

雪梅

雪梅

寒樓

雪梅

雪梅

雪梅

[illegible]

蝶梅

[illegible]

蝶梅の時分の[illegible]

[illegible]

蝶梅の[illegible]

[illegible]

蝶梅の[illegible]

[illegible]

蝶梅

餅屋
餅売
年市
年木

代表
義経
弁慶

庵町は雲家にかりて住さる
さる時は去年の冬撰る梅ぶ

尼拂

尼拂とそなる雪の人をそなし
いの尼は身をそなり身て尼拂　之伝
ふそなりつのそなる尼拂

鬼卯

大寒の人を似をし鬼ハ外
鬼ハ家外にそなる夕ぶる
初ふハそなりといふ鬼ハ外
鬼屋をかれてあき笑ふる

年豆

豆打てこそ年山家うる
豆打てそなしまそる豆しぶ
生豆より打こそ年の豆

若八　不雪　由雪　井梅　文戯　夏雨　照梅　白素　梅蕾　盛閑　梅笑　白就

豆打て懐りの人そしる美　松芳　四方
豆年ふ薬屋の舟生家うる
考る代の美を薬て行果数ぶ

美行

美を行家なきそ空の山家ぶ
行ふる来る手なそ行れるう
考る物とそうつる美の行生るう
つる松ぶ雪て美行山家うる
家の先きそ降出ぶ雪美き

美近

美近しいの和を行りの人通り
美近き羽考さそうそ鶯の香
家家の梅ふ咲くり美近き

美降

新そうつる庭ふ美の降るう

美行　一陽　素文　和美　文波　雄弘　水月　雪和

年団喜

[illegible]

年開

[illegible]

年開

[illegible]

年号

[illegible]

いとまなこそ二度もする人代々の書
大年　大達平信のうち　牛子　勝居
寿日　大達平親の往来の中詩の文句　孫子
高砂より自生庵の入口うれ　土産　夢遊
達之　紙ちうまるの三入ばし　万雲
築庵　ちうの入口の　星曜
ちうの寿ぬ　ちうの隠世ト　和美
紙名　ちうの　ちうの　梅葉
ちうの　ちうの　ちうの　孫子
ちうの　ちうの　ちうの　法師
心晦日　ちうの　ちうの　ちうの　一葉
ちうの　ちうの　ちうの　ちうの　孫子
人心も等しかるべき小晦日

大晦日　ちうの　ちうの　ちうの　大晦日　ちうの　ちうの　ちうの　葉葉
ちうの　ちうの　ちうの　ちうの　ちうの　ちうの　ちうの　ちうの　葉葉
一日の日と思はれる大晦日　上毛　夢賀
夢ちうの　ちうの　ちうの　ちうの　ちうの　ちうの　ちうの　ちうの　五松
ちうの　ちうの　ちうの　ちうの　ちうの　ちうの　ちうの　ちうの　里橋
古暦　月雪の　ちうの　ちうの　ちうの　ちうの　ちうの　ちうの　伯支
ちうの　ちうの　ちうの　ちうの　ちうの　ちうの　ちうの　ちうの　紙命
ちうの　ちうの　ちうの　ちうの　ちうの　ちうの　ちうの　ちうの　異羊
ちうの　ちうの　ちうの　ちうの　ちうの　ちうの　ちうの　ちうの　西麦
唐風暦　唐ちうの　ちうの　ちうの　ちうの　ちうの　ちうの　ちうの　孫歩
ちうの　ちうの　ちうの　ちうの　ちうの　ちうの　ちうの　ちうの　壁井
ちうの　ちうの　ちうの　ちうの　ちうの　ちうの　ちうの　ちうの　書支
ちうの　ちうの　ちうの　ちうの　ちうの　ちうの　ちうの　ちうの　達夏
ちうの　ちうの　ちうの　ちうの　ちうの　ちうの　ちうの　ちうの　書支
圖見　ちうの　ちうの　ちうの　ちうの　ちうの　ちうの　ちうの　ちうの
ちうの　ちうの　ちうの　ちうの　ちうの　ちうの　ちうの　ちうの
ちうの　ちうの　ちうの　ちうの　ちうの　ちうの　ちうの　ちうの

俳藪

明治十二年十月十三日 御届
同 十一月 出版

定價三十五錢

編輯者 椿海潮堂

出版人 東京府平民 高木和助 浅艸區北元町七番地

同 小林喜右衛門 日本橋區新大阪町十番地